

令和 7 年 10 月 21 日

大山町議会議長 吉原 美智恵 様

大山町議会議員 近藤 大介

令和 7 年大山町議会議員研修報告書

1	日 時	令和 7 年 10 月 20 日（月）～ 21 日（火）	
2	研 修 地	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研究所	
3	研修内容	（ 内 容 ）	（ 場 所 ）
		議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～	滋賀県大津市
4	研修結果 又は概要 （意見・感想）	<p>一日目</p> <p>1）地方議会の展望「地方議会に期待する」 講師：早稲田大学 北川正泰 名誉教授</p> <ul style="list-style-type: none">・「うちの議会はこんなもん」から脱却して、新しい議会像をめざそう。・国とは対等な関係。中央集権から地方分権の時代が変わっている。・執行部優先から二代表制の実現を。・「議会の役割は監視機能」の思い込みから脱却を。 政策立案、提言が大事。・行政は前例主義になりがち。地域が取り残されないよう、議会が変えていく。・議会基本条例を作ったけど、機能しているか。・地域の実情を分かっているのは議員。「地域は自分たちで変える」気持ちで。 <p>2）「議会改革度調査」から見る地方議会 講師：早稲田大学デモクラシー創造研究所 中村健 地域経営部会長</p> <ul style="list-style-type: none">・地域課題をどう解決するか。人口減少、後継者不足、病院・学校の縮小廃止・「消滅公務員」…若者の公務員離れ、離職者増加・マニケン（旧・早稲田大学マニフェスト研究所）が議会改革度調査で調べていること・・・開かれた議会、議会機能の強化 → その先にあるもの 気づいた住民との対話、行政との対話 → 地域課題の解決、地域の未来創造 → 地域の持続性向上・「誰かがやるだろうということは、誰もやらないということを知りなさい。」 （マザー・テレサ）・議会改革とは＝最終目的はまちが良くなること <p>…「議会が変われば、地域が変わる」「地域から日本を変える」</p>	

		<p>3) 住民参加・情報公開を進める取組</p> <p>事例紹介) 石川県加賀市議会 上田朋和 副議長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会改革度調査…全国10位 ・開かれた議会の取り組み…政務活動費の全面公開／小学生の議会傍聴／Facebook／本会議等インターネット中継／Youtube 番組／インスタ／オンライン会議 ・住民参画の取り組み…中学生議会、高校生議会／議会おでかけ教室／議会モニター ・政策提案する議会…条例制定、執行部への提言
--	--	--

	<p>研修結果 又は概要 (意見・感想)</p>	<p>二日目</p> <p>4) 住民参加・情報公開を進める取組 「まちの空気を編集する議会広報」事例紹介) 奈良県王寺町議会 村田大地 議会事務局係長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国議会広報コンクール 2年連続トップ10 ・第19回マニフェスト大賞 議会改革優秀賞 ・地方公務員が本当にすごい!と思う地方公務員アワード 2025年受賞 ・読み手が自分に必要な情報か判断する時間「0.3秒」 ・読み手を第一に考える。 ・ターゲットやコンセプトを決め、編集方針を設定 ・「町民参加」、声を「見える化」する。 ・「脱・報告書」…メリハリ、議員の人柄がわかるようなコメントを。 ・一人1ページの一般質問は、読まれない。 ・「広報モニター」で住民を巻き込む。 広報アンケートの常設は必須。 ・ほとんどの人は役場に行く用事がない。 <p>広報を通じてどうコミュニケーションをとるか。つながることをめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員や事務局で編集やデザインが難しい場合は、外部人材の検討を。 <p>5) 今後の議会改革の推進検討</p> <p>講師：早稲田大学デモクラシー創造研究所 中村健 地域経営部会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「議会だより」は何のため、誰のためのツールか。 ・万人向けは難しい。無関心→興味を持つ→参加する 行動変容を促す戦略 ・公務に関わることで、政治参加につながる。 <p>【演習】「議会だよりをどのように改善すればよいか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「この程度でいい」を変えていくか。 ・議会広報を変えていくことが、議会改革につながる。 <p>まとめ</p> <p>人口減少や若者流出など地域の深刻な課題について、どのように対応していくか。地方分権のなかで地方自治体が主体的にできること、やるべきことがある。</p> <p>議会は二元代表の一翼として、同様に主体的にできること、やるべきことを考えなければならないと改めて認識した。</p> <p>地域の未来がより良くなる(=住民の満足度が高まる)ためには、住民の主体的参画が必要で、議会改革を通じてそれを実現していく必要があると実感した。</p>
--	----------------------------------	---